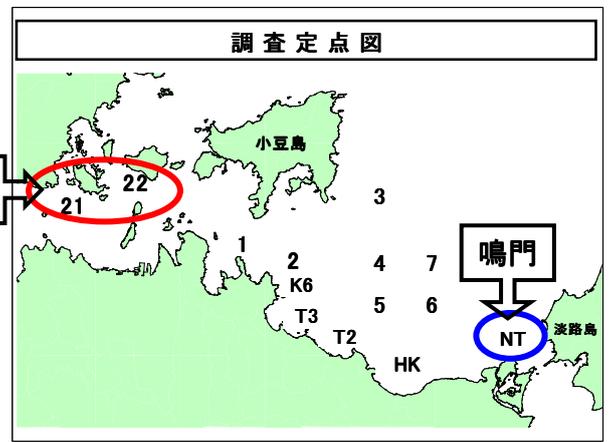


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2009. 6- 2)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



浅海定線調査結果

調査日: 6月18日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点(中旬のみ)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.6.16	1	112	82	52	253	24	90	229	36	9	56				85.8	
2007.6.19	0	0	0	1	0	9	1	1	0	0	0				1.1	
2008.6.19	0	0	0	1	0	31	74	34	1	4	0	0	0	23	13.2	12.0
2009.6.18	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0.1	0.3

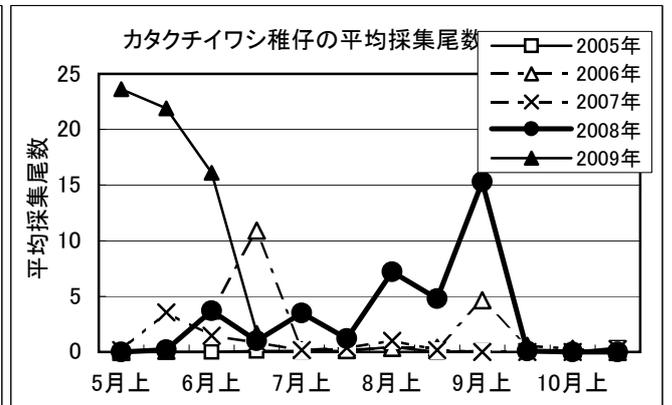
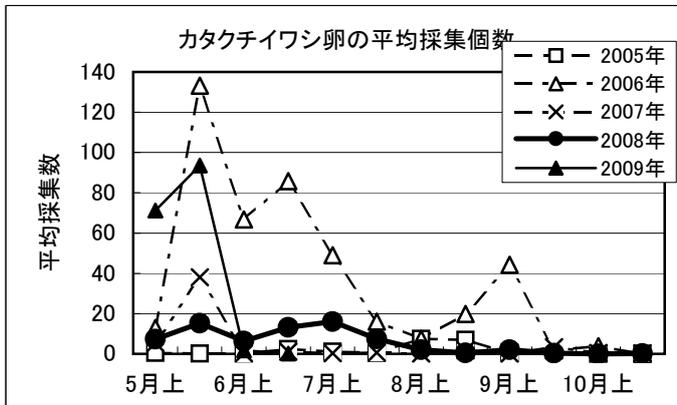
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.6.16	1	7	24	17	18	5	11	3	9	2	23				10.9	
2007.6.19	0	0	4	3	0	1	1	0	0	0	0				0.8	
2008.6.19	0	0	1	4	0	3	1	0	0	1	1	0	0	1	1.0	0.9
2009.6.18	0	0	2	3	0	5	9	0	0	0	0	0	0	5	1.7	1.7

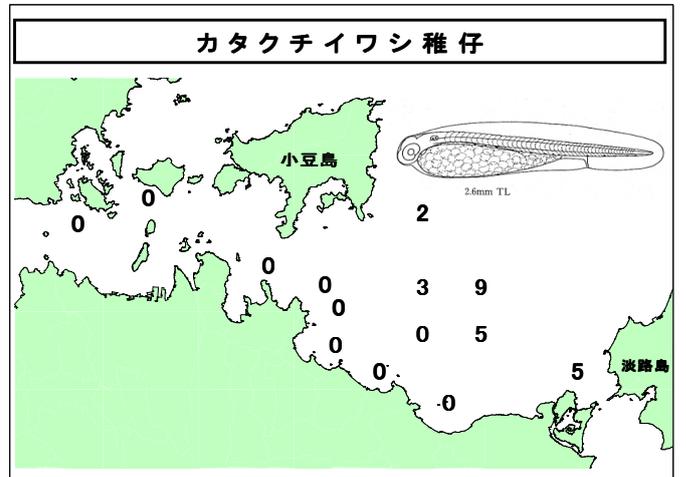
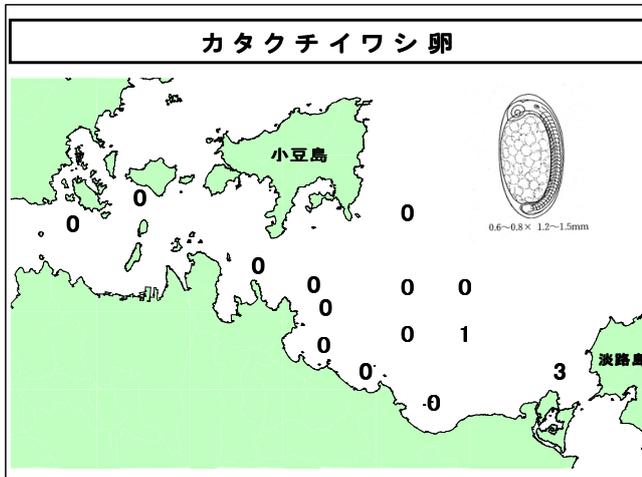
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は約 0.1個となり、昨年同時期を下回った。卵は鳴門寄りの定点で出現が見られた。

一方、稚仔の出現は約 1.7尾となり、昨年同時期を上回った。稚仔の出現は沖合いでの出現が多かった。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、5月中旬以降の水温は平年並みに推移している。